

災害避難所用 間仕切りセット

モジュールセル Module Cell

(デュポン™ タイベック® + デュポン™ タイパー® 製)

災害避難所での間仕切り、
イベント時の空間確保に最適！



規格：面積＝4.39m²
1辺＝1.3m、高さ＝1.9m

モジュールセルの特長

■ 構造資材は全て繊維素材で構成

- ・保管・運搬時の省スペース化(倉庫等の負担軽減)
- ・軽量(1人で持ち運べる重量、運搬時の負担軽減)
- ・低コスト製品化の実現
- ・廃棄が容易(廃棄にかかるコストや手間の削減)

■ モジュールセルは連結しやすく

物理的安定な6面体モジュール平面

- 入口部となる開閉部を3壁面に配置(高さ調整可能)
- 白を基調とした清潔感のある素材の採用
- 工具が不要な簡易な組み立て構成

収納サイズ



内容物



柱材×6

はり材×6

ひうち材(補強材)×6

■ 組み立て方法



モジュールセルは組み立てると大きくなりますが、組み立て前はコンパクトにまとまっています。



はじめに箱を開けて部材を確認します。



白いシート(壁材)を広げてから、一番長い茶色のシート(柱材)を丸めます。



白いシートの下部から丸めた柱材を差し込みます。



反対側の面にも柱を差し込み、合計6本の柱を差し込みます。



茶色の変型シートを使い、はり材を作ります。長い辺の方から丸めていきます。計6本。



はり材の巻きの少ない部分が同じ方向に飛び出す様に差し込みます。計6本。



3人以上で立ち上げます。立ち上げたら6角柱になる様に広げます。



はり材の飛び出し部分を隣のはり材に差し込みます。計6カ所。



ベルト通し用の穴に短いベルトを通して、はり部分を留めます。計6カ所。



1番小さい茶色のシートがひうち材(補強材)になります。丸めてひうちカバーに入れます。計6本。



ひうちカバーに入れたひうち材(補強材)と、はり部分を重ね、長いベルトで留めれば完成です。計6カ所。

モジュールセルの組み立て方法は、高階救命器具のYouTubeチャンネルで公開中！



高階救命器具公式チャンネル

製造元

高階救命器具株式会社

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1丁目1番34号

販売元・お問い合わせ

新成物産株式会社

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町13-2 兜町偕成ビル9階

Tel:03-3668-8282

開発協力

京都大学防災研究所 牧 紀男

株式会社エス・キューブ・アソシエイツ

旭・デュボン フラッシュスパン プロダクツ株式会社

デュボン™、タイベック®、タイパー®は、米国デュボン社の商標あるいは登録商標です。

2018年10月



使用上の注意

- 本製品は屋内での使用を目的としております。屋外での使用はしないでください。
- 本製品は、平らな地面(床)の上に設置してください。
- 組み立て(または解体)は、必ず3人以上で行ってください。製品の破損や怪我につながる恐れがあります。
- はり材、ひうち材、柱材は、間違った箇所に使用して組み立てると製品が正常に機能しませんのでご注意ください。
- 火のそばに置くと燃えたり焦げたりする可能性がありますので、火気の取り扱いには十分ご注意ください。
- 強い力で柱や壁を押すと、倒壊する危険がありますので、ご注意ください。



廃棄について

- 本製品にはタイベック®とタイパー®が使用されています。
- タイベック®はポリエチレン100%、タイパー®はポリプロピレン100%の不織布です。
- タイベック®及びタイパー®のいずれも構造上ハロゲンを含まないため、焼却してもダイオキシン及び有害ガスを一切発生しません。
- 廃棄の際は、国及び各自治体の規則に従って処理してください。